取扱説明書

TAXAN LED PROJECTOR

製品をご使用になる前に、本マニュアルをよくお読みください。

KG-PL021X

P/NO : MFL63282814 (1009-REV01)

LED PROJECTOR

このたびは、TAXAN　LEDプロジェクタをお買いあげいただきありがとうございました。
この製品を正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
お読みになった後は、「保証書」とともに、いつでも見ることができるように大切に保管してください。
万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときには、この「取扱説明書」をお読みください。

注意

この装置は、クラスB 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

- DLP®(Digital Light Processing)は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
- XGA は米国IBM Corp. の登録商標です。
- S-VGA はVideo Electronics Standards Association の登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh は米国Apple Inc. の商標です。
- Adobe Acrobat Reader はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

（1）本書の内容の一部または全部を無断転記することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本製品の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために

起こりうる事故、またはプロジェクタの誤使用を防ぐため、安全上の注意事項をよくお読みください。

➡ 安全上の注意事項は、次のような2 つの形式で記載されています。

⚠ **警告** : この指示を守らないと、重傷を受けたり場合によっては死亡事故につながる恐れがあります。
⚠ **注意** : この指示を守らないと、軽傷を受けたりプロジェクタの破損につながる恐れがあります。

➡ 本マニュアルを読んだ後には、いつでもすぐに参照できる場所に保管してください。

室内での設置　⚠ 警告

プロジェクタは、直射日光が当たる場所や熱を発するもの(ラジエータ、火元、ストーブなど) の近くに置かないでください。
火災につながる恐れがあります。

プロジェクタのそばに引火性物質を置かないでください。
火災につながる恐れがあります。

設置したプロジェクタにぶら下がって、子供が遊ばないように注意してください。
プロジェクタが落下して、けがや死亡事故につながる恐れがあります。

通風孔を塞いだり、空気の流れを妨げないでください。
内部温度が上昇し、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

蒸気やオイルを噴出するもの(加湿器など) の近くに置かないでください。
火災や感電につながる恐れがあります。

ほこりがかかる場所に置かないでください。
火災や装置の破損につながる恐れがあります。

水に濡れる可能性がある湿気の多い場所(浴室など) では使用しないでください。
火災や感電につながる恐れがあります。

カーペットやラグの上に直接置いたり、換気が悪い場所に置かないでください。
内部温度が上昇し、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

プロジェクタの周囲では、十分な換気を確保してください。プロジェクタと壁の間には、必ず20 cm 以上の距離をとってください。
内部温度が過度に上昇すると、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

室内での設置　⚠ 注意

テーブルの上に設置する場合は、テーブルの端に置かないように注意してください。
落下して、周囲の人重傷やプロジェクタの重大な破損につながる恐れがあります。適切なスタンドのみを使用してください。

移動する前には、電源接続とすべての接続部を取り外してください。

水平で安定した場所でのみ使用してください。
落下して、けがや装置の破損につながる恐れがあります。

電源　⚠ 警告

アース線を必ず接続してください。
- アース端子の接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース端子の接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- アース線が接続されていないと、漏電による感電につながる恐れがあります。
- 接地ができない場合は、有資格の電気技術者が個別の回路遮断器を設置する必要があります。
- 電話線、避雷針、またはガス管には接地しないでください。

電源プラグは電源コンセントに完全に差し込んでください。
火災や装置の破損につながる恐れがあります。

電源コードの上に重いものを置かないでください。
火災や感電につながる恐れがあります。

電源 ⚠ 警告

濡れた手で電源プラグに触れないでください。 感電につながる恐れがあります。	電源コンセントには、同時に多くのプラグを使用しないでください。 電源コンセントが過熱して、火災につながる恐れがあります。	電源プラグの端子、または電源コンセントにほこりがたまらないようにしてください。 火災につながる恐れがあります。

電源 ⚠ 注意

プラグを抜くときには、プラグをしっかりと持ってください。コードを引っ張ると、コードが破損する恐れがあります。 火災につながる恐れがあります。	電源コードまたは電源プラグが破損していたり、電源コンセントが緩んでいるときには、電源プラグを差し込まないでください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	電源コードは、先が尖ったものや高温のもの(ヒーターなど) に触れないように注意してください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。

プロジェクタは、人が電源コードでつまづいたり、人が電源コードを踏んだりしない場所に置いてください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	壁面コンセントの電源プラグを抜き差しして、プロジェクタのオン/オフを切り替えないでください。(電源プラグをスイッチ代わりに使用しないでください。) ※ダイレクトパワーオン機能有効時を除く 機械的な故障や感電につながる恐れがあります。	アダプタ、電源コードは本製品以外の製品には使用出来ません。

使用時 ⚠ 警告

液体が入ったもの(花瓶、コーヒーカップ、化粧品、ろうそくなど) をプロジェクタの上に置かないでください。 火災や装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタが強い衝撃または破損を受けた場合は、プロジェクタの電源を切り、電源コンセントからプラグを抜いてサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタにものを落とさないでください。 感電や装置の破損につながる恐れがあります。

プロジェクタに水がかかった場合は、ただちに電源コンセントからプロジェクタのプラグを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。 感電や装置の破損につながる恐れがあります。	使用済み電池は、安全な方法で適切に廃棄してください。 子供が電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

カバー類を取り外さないでください(レンズカバーを除く)。感電する恐れがあります。	プロジェクタの使用中は、レンズを直視しないでください。目を損傷する恐れがあります。	通気孔は非常に熱くなっているので、使用中/使用直後には金属部分に触れないでください。

電源コードに関するご注意
ほとんどの機器では、専用の電気系統(1 つの機器のみの電源を供給し、追加コンセントや電源の分岐がない単一の電気系統) を使用することが推奨されています。
壁面コンセントに負荷をかけ過ぎないでください。過負荷になった壁面コンセント、緩んだ/破損したコンセントや延長コード、摩耗した電源コード、亀裂が入った絶縁コードを使用するのは危険です。このような状態は、感電や火災につながる恐れがあります。機器のコードを定期的に点検し、外観上の破損または劣化が見られる場合は、そのコードを抜いて、機器の使用を停止し、同一交換部品との交換を正規のサービス担当者に依頼してください。電源コードが、物理的または機械的な誤用(ねじれ、よじれ、締め付け、ドアの挟み込み、足での踏みつけなど) を受けないよう注意してください。プラグ、壁面コンセント、および機器からコードが出ている部分には、特に注意を払ってください。

使用時　⚠ 警告

ガス漏れが発生した場合は、壁面コンセントに触れないようにし、窓を開けて換気を行ってください。 火災や火花によるやけどにつながる恐れがあります。	レンズの中を直接見ないでください。目を損傷する恐れがあります。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。	プロジェクタの点灯中は、レンズシャッターを開いてください。

使用時　⚠ 注意

プロジェクタの上に重いものを置かないでください。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。	レンズに衝撃を与えないように注意してください(特にプロジェクタの移動時)。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタのレンズに触れないでください。レンズは傷つきやすく、破損しやすくなっています。
外装が破損するので、プロジェクタの上で先が鋭い道具を使用しないでください。	画像がスクリーンに表示されない場合は、プロジェクタの電源を切り、電源からプラグを抜いてサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタを落としたり、強い衝撃を与えないでください。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。

クリーニング　⚠ 警告

クリーニングには、水を使用しないでください。 火災や感電につながる恐れがあります。	プロジェクタから煙が出たり、異臭がする場合は、プロジェクタの電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いて、販売店またはサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	投映レンズのほこりや汚れを取り除く場合は、エアスプレーを使用するか、中性洗剤と水をしみ込ませた柔らかい布を使用してください。

クリーニング　⚠ 注意

年に1 度は、サービスセンターにプロジェクタの内部部品のクリーニングを依頼してください。 ほこりがたまると、機械的な故障につながる恐れがあります。	プロジェクタケースなどのプラスチック部品をクリーニングするときには、電源プラグを抜いて、柔らかい布で拭いてください。洗剤を使ったり、スプレーで水をかけたり、濡れた布で拭いたりしないでください。特に、洗剤(ガラス用洗剤)、自動車用/工業用の光沢剤、研磨剤、ワックス、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。これらを使用すると、製品を破損する恐れがあります。投映レンズのほこりや汚れを取り除く場合は、エアスプレーを使用するか、中性洗剤と水をしみ込ませた柔らかい布を使用してください。 火災、感電、または製品の破損(変形、腐食、損傷) につながる恐れがあります。

その他　⚠ 警告

プロジェクタの修理を自分でしないでください。販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

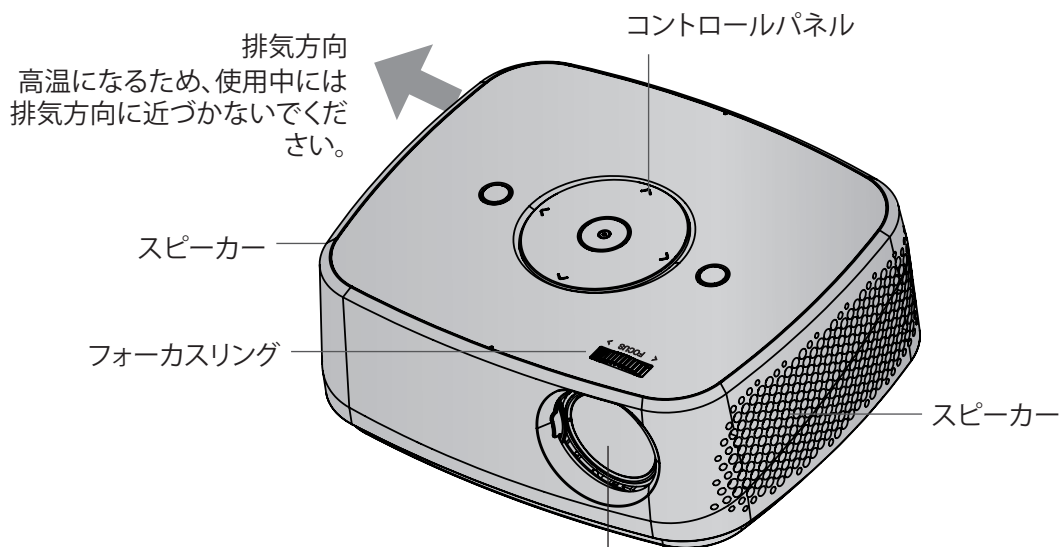
プロジェクタの破損や感電につながる恐れがあり、保証が無効になる場合もあります。

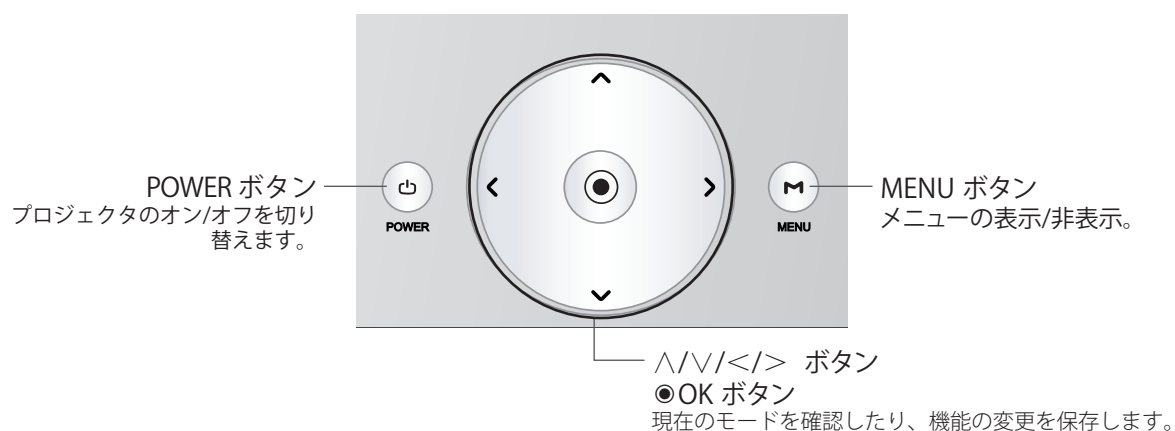
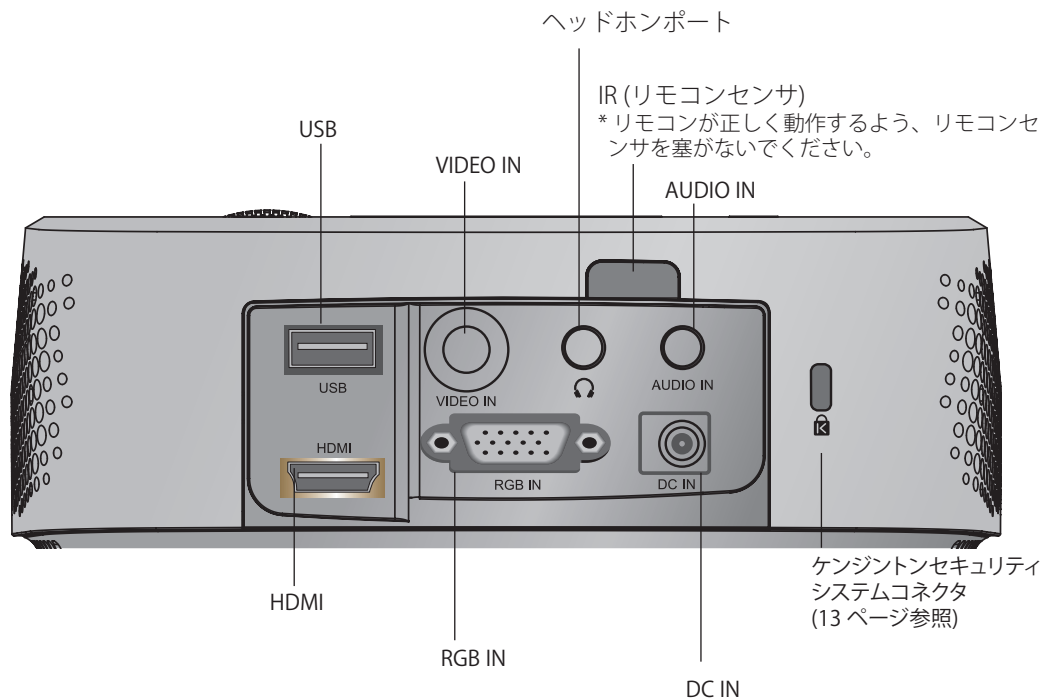
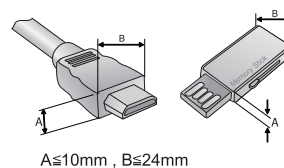
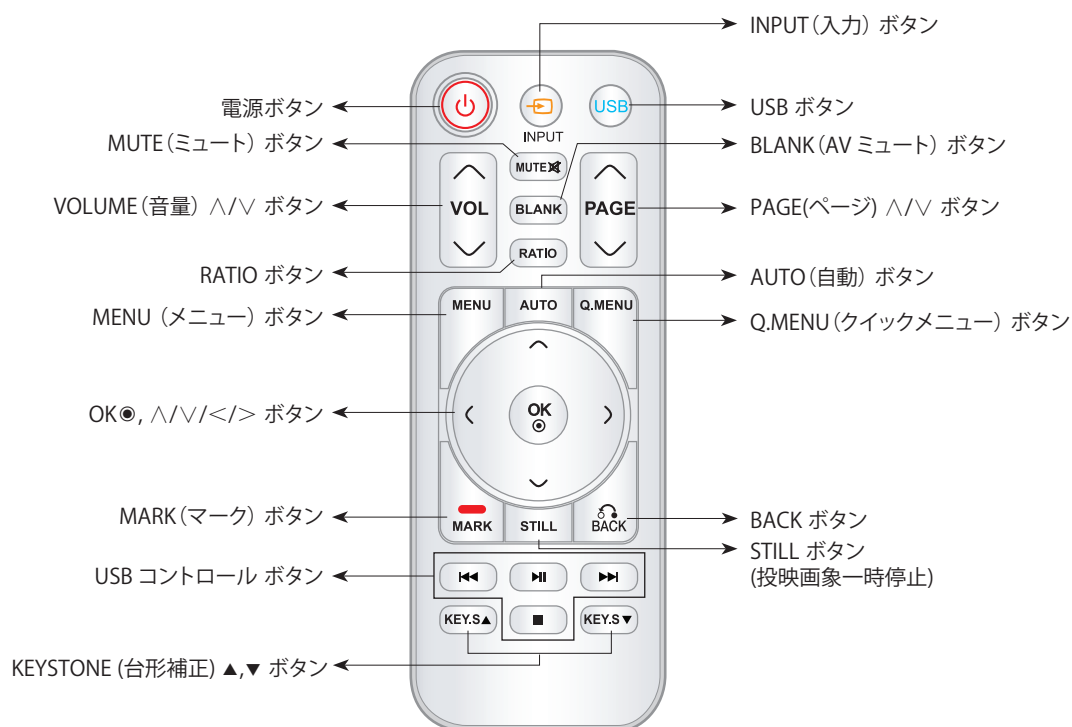
その他　⚠ 注意

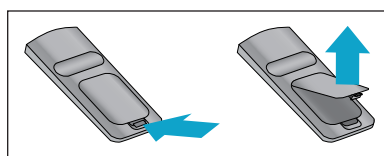
プロジェクタを長い間使用しない場合は、電源プラグを必ず抜いてください。 ほこりがたまると、火災や装置の破損につながる恐れがあります。	新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。 電池の過熱や液漏れにつながる恐れがあります。	指定されたタイプの電池のみを使用してください。 指定以外の電池を使用すると、リモコンの破損につながる恐れがあります。

各部の名称

本体

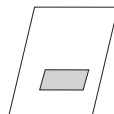
* プロジェクタは高精度な技術を使用して製造されています。しかし、非常に小さい黒い点や明るい点(赤、青、または緑) がプロジェクタスクリーン上に表示される場合があります。これは、製造プロセスによる正常な結果であり、必ずしも動作不良を示すものではありません。

* プロジェクタ使用時には、レンズへの接触やレンズシャッターを閉めた状態で使用しないでください。

コントロールパネル

接続部

*HDMI端子とUSB端子を同時に使用する場合、接続するジャックのサイズが大きすぎると、同時に接続できない可能性があります。

リモコン

電池を挿入する方法

* 正しくないタイプの電池を使用すると、爆発の危険性があります。
使用済み電池は、定められた方法に従って廃棄してください。

- リモコン背面の電池カバーを開けてください。
- 向きに気を付けて、正しいタイプの電池を差しこんでください。「+」、「-」のマークを電池のプラス、マイナスに合わせてください。
- 1.5Vの単4電池をご利用ください。新しい電池を使用済みの電池と一緒に使用しないでください。

付属品

リモコン

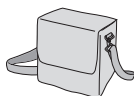
単4電池

取扱説明書

サポート用紙

電源コード

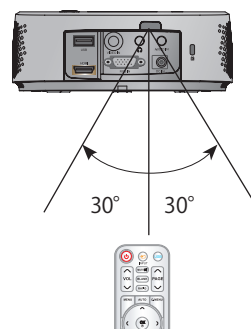
コンピュータケーブル

AC-DC アダプタ

RGB/コンポーネントケーブル

キャリングケース

クリーナ

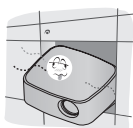
お知らせ

- リモコンは、受信部から見て距離1.8m、角度30°(左/右) までの範囲で使用可能です。
- ケーブルが背面の出力端子に接続されている場合、リモコンは、距離3m、角度30°(左/右) 以内で使用することをお勧めします。

設置と構成

設置に関する注意事項

プロジェクタの適切な換気を確保してください。

- プロジェクタの底部には吸気用の通気孔、前面には排気用の通気孔が装備されています。これらの通気孔を塞いだり、近くにものを置いたりしないでください。内部温度が上昇し、画像の劣化やプロジェクタの破損につながる恐れがあります。

- プロジェクタは、カーペットやラグのような表面の上に置かないでください。プロジェクタ底部の十分な換気が妨げられる場合があります。本製品は、壁または天井のみに取り付けてください。

- プロジェクタを押して動かしたり、プロジェクタに液体をかけないでください。

- プロジェクタの周囲には、十分な距離(30 cm) をとってください。

適した温度/湿度条件の場所に置いてください。

- 適した温度と湿度を満たす場所のみに設置してください(38 ページ参照)

ほこりがかかる場所に置かないでください。

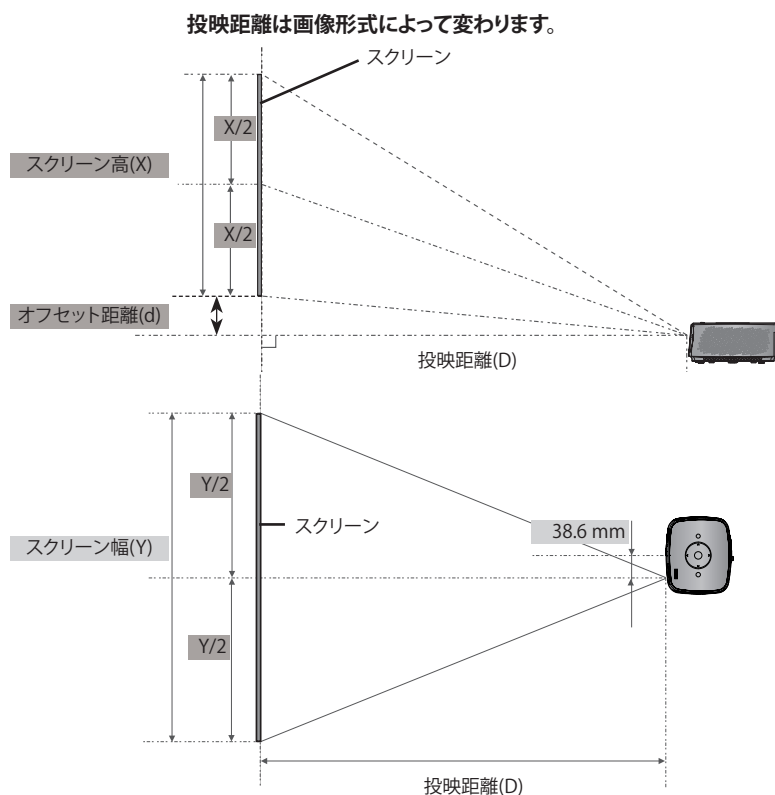
- 過熱につながる恐れがあります。

プロジェクタの通気孔や開口部を塞がないでください。過熱の原因となり、火災につながる恐れがあります。

プロジェクタは高精度な技術を使用して製造されています。しかし、非常に小さい黒い点や明るい点(赤、青、または緑) がプロジェクタスクリーン上に継続して表示される場合があります。これは、製造プロセスによる正常な結果であり、動作不良を示すものではありません。

プロジェクタの基本操作

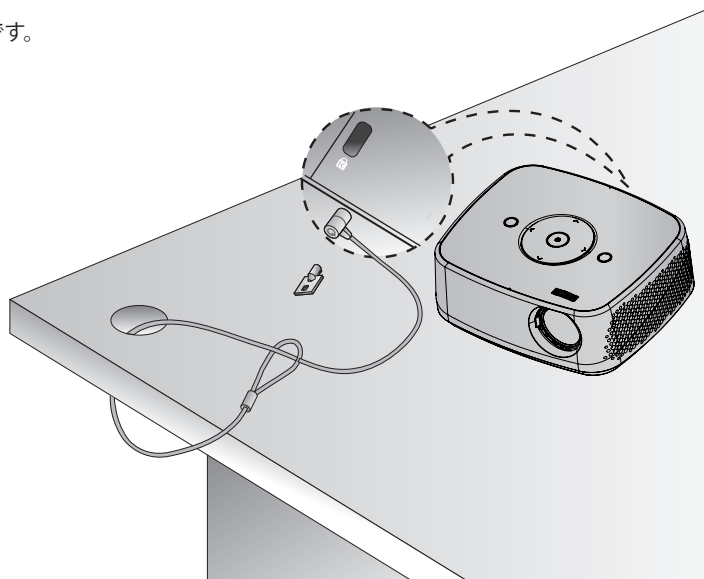
1. コンピュータまたは映像機器とプロジェクタを、安定した水平な場所に置きます。
2. プロジェクタの映像ケーブルを映像機器に接続します。
3. スクリーンから必要に応じた距離をとって、プロジェクタを置きます。プロジェクタとスクリーンの間の距離によって、画像の実際のサイズが決まります。
4. レンズが正しい角度でスクリーンに向くように、プロジェクタを配置します。プロジェクタの角度が正しくないと、スクリーンの画像が歪みます。その場合は、台形補正を行います。(20 ページ参照)。

投映距離は画像形式によって変わります。

4 : 3 (アスペクト比)					
対角線サイズ (inch)	対角線サイズ (mm)	水平サイズ (mm)	垂直サイズ (mm)	投映距離(D) (mm)	オフセット距離(d) (mm)
20	508	406	305	549	31
25	635	508	381	686	38
30	762	610	457	823	46
35	889	711	533	961	53
40	1016	813	610	1098	61
45	1143	914	686	1235	69
50	1270	1016	762	1372	76
55	1397	1118	838	1509	84
60	1524	1219	914	1655	91
65	1651	1321	991	1785	99
70	1778	1422	1067	1922	107
75	1905	1524	1143	2060	114
80	2032	1626	1219	2195	122
85	2159	1727	1295	2335	130
90	2286	1829	1372	2470	137
95	2413	1930	1448	2610	145
100	2540	2032	1524	2750	152

三脚を使用してプロジェクタを設置する方法

* プロジェクタは、カメラ用の三脚を使用して設置できます。カメラの代わりに、プロジェクタを三脚に取り付けることができます。
* 三脚を固定する場合は、標準サイズ (4.5mm) 以下のロッキングボルトを使用することをお勧めします。使用できるロッキングボルトのサイズは、6.5mm を限度とします(限度を超えるサイズのボルトを使用すると、プロジェクタに損傷を与える危険性があります)。

ケンジントンセキュリティシステムを使用する

- プロジェクタの背面パネルには、「ケンジントン」セキュリティシステムコネクタがあります。「ケンジントン」セキュリティシステムのケーブルを下図のように接続します。
- ケンジントンセキュリティシステムの設置と使用方法の詳細については、ケンジントンセキュリティシステム製品に付属のユーザーズガイドを参照してください。その他の詳細については、ケンジントン社のインターネットホームページ (**http://www.kensington.com**) をご覧ください。ケンジントン社は、ノートブックPC やプロジェクタなどの電子装置を幅広く取り扱う会社です。
- ケンジントンセキュリティシステムはオプション品です。

プロジェクタの電源をオンにする

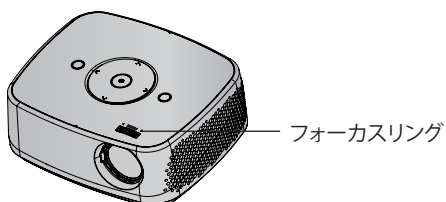
1. 本体のDC IN 端子とアダプタ、アダプタと電源コード、および電源プラグとコンセントを接続します。

2. コントロールパネルの **POWER** (電源) ボタン、または リモコンの**電源**ボタンを押します(コントロールパネルのランプが点灯します)。
    - リモコンの **INPUT** ボタンを押して、希望する入力信号を選択します。
    - リモコンの **電源**ボタンまたはコントロールパネルの **POWER**ボタンを押してプロジェクタの電源を入れると、コントロールパネルのボタンがすべて点灯します。
    - 電源をオンにする前に、レンズシャッターが開いているか確認してください。
    - 附属のアダプタ、電源コードは本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

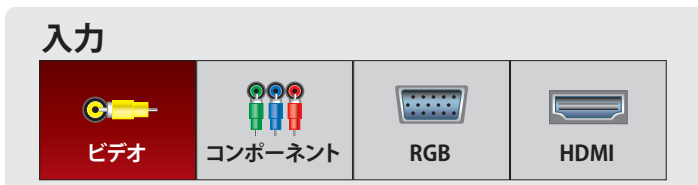
プロジェクタの電源をオフにする

コントロールパネルの **POWER** (電源) ボタン、またはリモコンの**電源**ボタンを押します。

スクリーン画像のフォーカスと位置を調整する

 スクリーンに画像が表示されたら、画像のフォーカスが合っているか、スクリーンに画像が収まっているかを確認します。

- 画像のピントは、フォーカスリングを回転させて調整します。

入力を選択する

1. リモコンの **INPUT**ボタンを押します。
2. **INPUT**ボタンで入力信号を選択して、プロジェクタに接続されている入力を変更します。＜ / ＞ ボタンでもすべての入力を変更することができます。

- コンポーネント入力は常に有効ですが、プラグアンドプレイ機能はサポートしていません。

接続

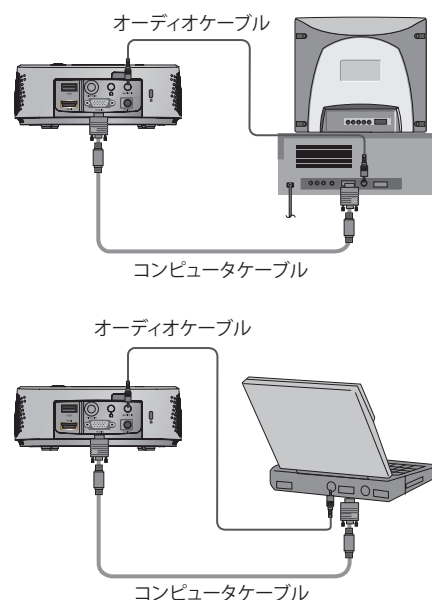
PC に接続する

* プロジェクタは、VGA、SVGA、XGA、およびSXGA 出力のコンピュータに接続できます。
* プロジェクタでサポートされるモニタ表示については、37 ページを参照してください。

< 接続方法 >

1. コンピュータケーブルで、プロジェクタの **RGB IN** 端子とコンピュータの出力端子とを接続します。

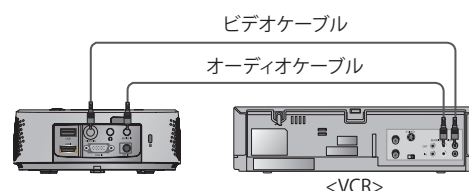
2. オーディオケーブルで、プロジェクタの **AUDIO IN** 端子とコンピュータの音声出力端子とを接続します。

   * コンピュータのディスプレイと外部プロジェクタの両方にコンピュータの信号が出力されるように設定すると、外部プロジェクタの画像が適切に表示されない場合があります。その場合は、外部プロジェクタのみに信号が出力されるように、コンピュータの出力モードを設定してください。詳細については、コンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

ビデオソースに接続する

* プロジェクタには、ビデオレコーダ、ビデオカメラ、またはその他の互換性のあるビデオ画像ソースを接続できます。

< 接続方法 >

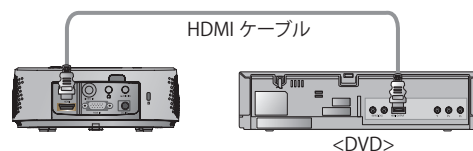
1. ビデオケーブルで、プロジェクタの **VIDEO IN** 端子を映像ソースの出力端子に接続します。

2. オーディオケーブルで、プロジェクタの **AUDIO IN** 端子を音声ソースの出力端子に接続します。

DVD 機器に接続する

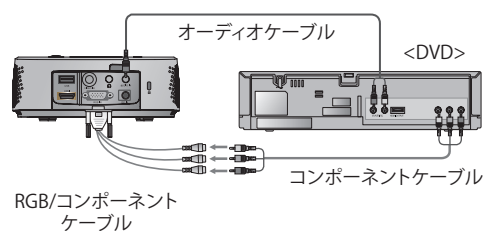
* DVD 機器の出力ジャック(Y、PB、PR) には、機器によってはY、Pb、Pr/Y、B-Y、R-Y/Y、Cb、Cr のラベルが付いています。

< HDMI ソースの接続方法 >

1. HDMI ケーブルで、プロジェクタの **HDMI** 端子と DVD のHDMI 出力端子とを接続します。

2. DVD の解像度を以下のいずれかに設定します
   ：480p(576p)/720p/1080i/1080p モード。

< コンポーネントの接続方法 >

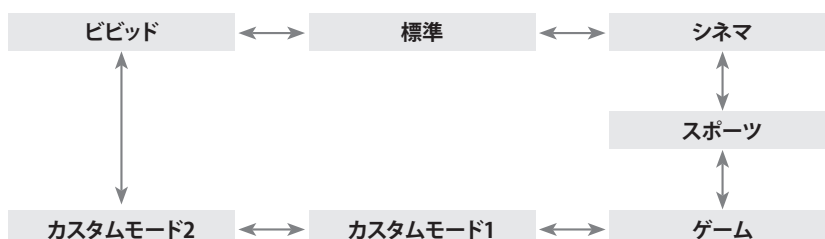
1. DVD のコンポーネント端子に RGB/コンポーネント変換ケーブルを接続してから、プロジェクタの **RGB IN** 端子に接続します。
   * コンポーネントケーブルを接続する場合は、端子の色とコンポーネントケーブルを合わせて接続しください (Y = 緑、PB = 青、PR = 赤)。

2. オーディオケーブルで、プロジェクタの **AUDIO IN** 端子をDVDの音声ソースの出力端子に接続します。

機能

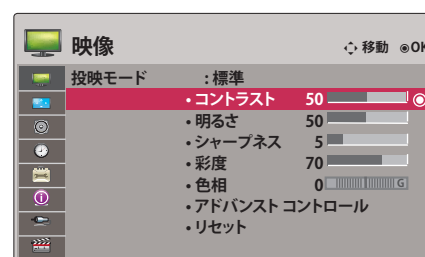
* この操作ガイドでは、主にRGB モードの操作について説明します。

映像メニュー

投映モード

1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。
2. ＜または＞ボタンを押して、**投映モード**に移動します。
3. ∧、∨ ボタンを押して、必要に応じた調整を行います。

- **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

投映モードの調整

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、＜、＞ ボタンで**映像**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ ボタンを押して希望する機能に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. ＜または＞ ボタンを押して希望する調整を行ってから、◉**OK** ボタンを押します。

- 入力端子ごとの**投映モード**に合わせた異なる画像値を設定することができます。
- 調整後に保存すると、調整した**投映モード(ユーザー)**で表示します (**カスタムモード 1/2**を除く)
- **投映モード**を **リセット**し、工場出荷時の設定に戻します。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

アドバンストコントロール機能

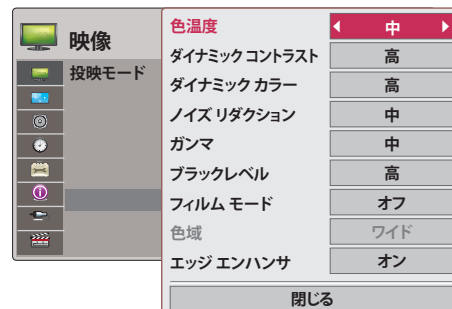
1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、<、> ボタンで**映像**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ボタンを押して**アドバンスト コントロール**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ ボタンで希望する項目に移動します。

4. <または> ボタンを押して希望する調整を行ってから、◉**OK**ボタンを押します。

- 入力端子ごとの**投映モード**に合わせた異なる画像値を設定することができます。
- **投映モード**を**リセット**し、工場出荷時の設定に戻します。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

< **投映モード**が**ビビッド/標準/シネマ/スポーツ/ゲーム**の時 >

< **投映モード**が**カスタムモード 1/2**の時 >

色温度	• 赤色などの温かい色を高めるには**低**に、画像を青みがかった色にするには**高**に設定してください。
ダイナミック コントラスト	• コントラストを調整して、画面の明るさに応じた最適なレベルのコントラストを保持します。画像は、明るい部分をより明るく、暗い部分をより暗くすることで改良されます。
ダイナミック カラー	• 画面の色を調整することで、画面により躍動感を持たせ、色彩豊かに鮮明にします。この機能で色相、彩度、輝度を高め、赤、青、緑、白色をより鮮明に表現します。
ノイズ リダクション	• 画質を劣化させることなく画面のノイズを除去します。
ガンマ	**低** : 画像の暗い部分や中間灰色部分をより明るくします。 **中**: 本来の画像レベルを表現します。 **高**: 画像の暗い部分や中間灰色部分をより暗くします。 • 画像の暗い部分や中間灰色部分の明るさを調整することができます。
ブラックレベル	**低**: 画面の映像が暗くなります。 **高**: 画面の映像が明るくなります。 • 画面のブラックレベルを適切なレベルで設定します。 • この機能で、**RGB** モードを無効にします。
フィルム モード	• チラツキ効果を除去することで、映画に収録されたビデオクリップをより自然に見せます。 • DVD やブルーレイの映画は 24 コマ/秒で撮影されています。
色域	**標準**: 標準色の色域を表示します。 **ワイド**: 表示する色彩豊かな色域を利用し設定するモードです。 • 色を最大限に利用して、色品質を高めます。
エッジ エンハンサ	• 画面端を鮮明で明瞭に、それでいて自然に表現します。
カラー標準	• 異なる映像の色を HD 色に変換します。

ホワイト バランス	- **カスタムモード 1/2**. で使用する機能です。 • 画面の色全体をお好みの色に調整することができます。 a. **方法 : 2 ポイント** - **パターン : 内部、外部** - **赤/緑/青のコントラスト、赤/緑/青の明るさ** : 調整範囲は、**-50** ~ **+50** です。 b. **方法 : 20 ポイント IRE** - **パターン : 内部、外部** - **IRE** (Institute of Radio Engineers) は、ビデオ信号の振幅を表す単位で、**5**、**10**、**15** - **95**、**100**の中から設定することができます。それぞれの設定に応じて**赤**、**緑**、**青**の調整を行うことができます。 - **赤/緑/青**: 調整範囲は、**-50** - **+50** です。
カラー マネージメント システム	- **カスタムモード 1/2**. で使用する機能です。 • テストパターンで調整を行うため、他の色に影響を与えることなく、6色の色域 (赤/緑/青/青緑/赤紫/黄) を選択して調整することができます。 一般の映像に対して調整を行っても、明確な色の違いが出ない場合があります。 赤/緑/青/黄/青緑/赤紫 を調整します。 - **赤/緑/青/イエロー/シアン/マゼンタのカラー**: 調整範囲は、**-30** ~ **+30** です。 - **赤/緑/青/イエロー/シアン/マゼンタの色合い**: 調整範囲は、**-30** ~ **+30** です。 - この機能でRGBモードを無効にします。

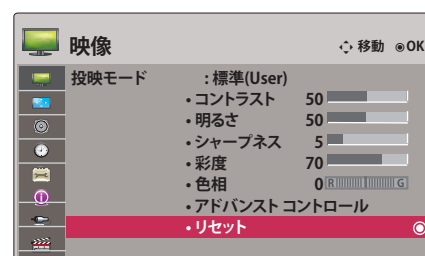
色温度調節機能

1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。
2. ＜または＞ボタンを押して、**色温度**に移動します。
3. ∧、∨ ボタンを押して、必要に応じた調整を行います。

- この機能によって**ビビッド/標準/シネマ/スポーツ/ゲーム**が有効になります。
- **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

投映モードリセット機能

* 入力端子ごとの**投映モード**に合わせて選択した**映像**の設定を、工場出荷時の設定に戻します。

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、＜、＞ ボタンで**映像**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ボタンを押して**リセット**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
   - メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

画面メニュー

投写位置の変更します

* 画像を逆さまにしたり、水平方向に反転させたりします。

1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。

2. ＜または＞ボタンを押して、**投写位置**に移動します。

3. ∧/∨ ボタンを押して希望するメニュー項目を選択します。

    - 別売の透過型スクリーンの背面から投射する場合は、**リア**を選択します。
    - 天井に本機を設置する場合は、**天吊り**を選択します。
    - **投写位置**が**リア**/**天吊り**の場合は、左右のスピーカーは自動的に切り替わります。
    - **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
    - メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

アスペクト比機能を使用します

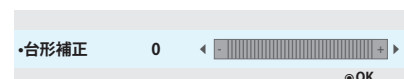
RATIO ボタンを押して、希望する画面サイズを選択します。

- 入力信号によっては、利用できない項目があります。
- **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

台形補正

* スクリーンとプロジェクタの角度が正しくないために画像が台形になっている場合は、この機能を使用します。
* **台形補正**は、投映角度を最適に調整できない場合にのみ使用してください。

1. リモコンの **KEY.S▲, KEY.S▼** ボタンを押します。

2. **KEY.S▲, KEY.S▼** ボタンを押して、スクリーン状態を必要に応じて調整します。

- **台形補正**は **-40** ~ **40** に調整できます。
- **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

自動設定機能

* 画像の横サイズや同期を自動的に調整することで、最高画質をお楽しみいただくことができます。
* 自動トラッキング機能は、RGB PC入力時のみに動作します。

リモコンの **AUTO** ボタンを押します。

- PC グラフィック信号からの映像で画面の調節を行うと、最適状態が見つからないことがあります。静止画像には**自動設定**機能を実行します。
- **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。

RGB入力設定

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、＜、＞ ボタンで**画面**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ボタンを押して**RGB入力設定**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ボタンで希望する項目に移動してから、＞ボタンを押します。

4. ∧, ∨, ＜, ＞ ボタンを押してお好みの画面の状態に調整してから、◉**OK** ボタンを押します。

RGB入力設定 移動 戻る

解像度 ✓1024 x 768 / 1280 x 768 / 1360 x 768
自動設定
位置
水平サイズ
位相
リセット

- **解像度**は、768 解像度(1024x768/1280x768/1360x768, 60Hz)のいずれかを選択することができます。
- 位相とは画面の色ずれやちらつきが出ている場合に調整を行います。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

画像の一時停止

1. リモコンの **STILL** ボタンを押します。
   * 画像が一時停止されます。

＜プレー画像＞　＜停止画像＞

2. STILLまたはいずれかのボタンを押すと、一時停止がキャンセルされます。
   * 一時停止は10分を経過すると自動的にキャンセルされます。

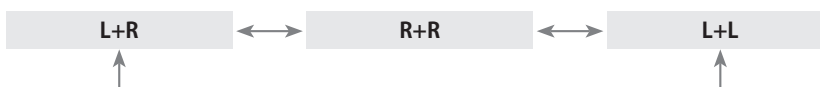
オーディオメニュー

音量を調整する

リモコンの **VOLUME** ∧, ∨ ボタンを押します。

- **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。

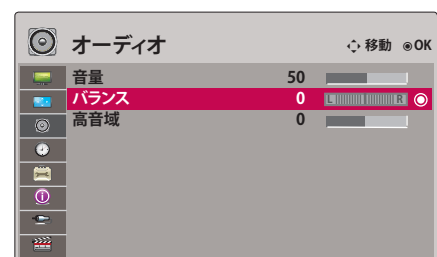
オーディオ機能

1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。
2. ＜または＞ボタンを押して、**オーディオ**に移動します。
3. ∧/∨ ボタンを押して希望するメニュー項目を選択します。

- この機能はヘッドホン接続時に有効になります。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

スピーカーのバランスを調整する

* スピーカーの左右の音質を、お好みや部屋の状況に合わせて調整します。

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、＜、＞ ボタンで**オーディオ**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ボタンを押して**バランス**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. ＜または＞ ボタンを押して音声のバランスを調整し、◉**OK**ボタンを押します。

- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

高音域を調整する

* 高音を、お好みや部屋の状況に合わせて調整します。

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、＜、＞ ボタンで**オーディオ**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ボタンを押して**高音域**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ＜または＞ ボタンを押して音声のトレブルを調整し、◉**OK** ボタンを押します。

   • メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

タイマー設定メニュー

オフタイマー機能

* 事前に設定した時間が経過すると、オフタイマーによりプロジェクタの電源がオフになります。

1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。

2. ＜または＞ボタンを押して、**オフタイマー**に移動します。

3. ∧, ∨ ボタンを押して、必要に応じたプリセット時間を選択します。

• **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
• メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

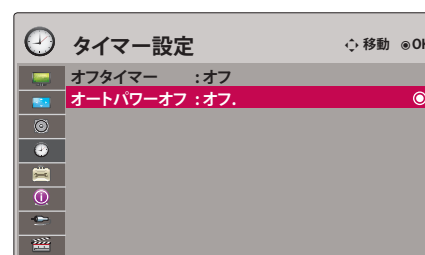
オートパワーオフ機能

* 無信号状態時に設定時間が経過すると、この機能によってプロジェクタが自動的にオフになります。

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、＜、＞ ボタンで**タイマー設定**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ボタンを押して**オートパワーオフ**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ ボタンで希望する項目へ移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

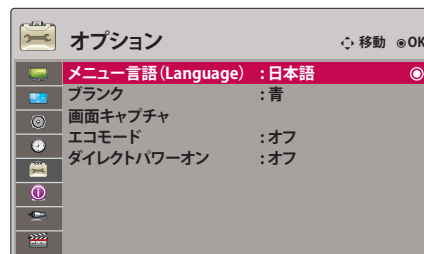
   • メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

オプションメニュー

言語を選択する

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、＜、＞ ボタンで**オプション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

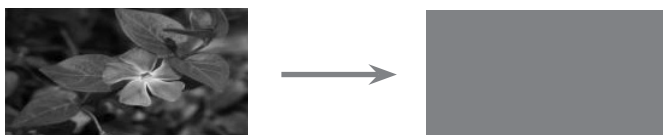
2. ∧または∨ボタンを押して**メニュー言語（Language）**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧, ∨, ＜, ＞ ボタンを押して、使用する言語を選択します。

- 選択した言語で、オンスクリーンディスプレイ(OSD) が表示されます。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

ブランク

* プレゼンテーション、ミーティング、打ち合わせ中などに相手の注意を引く必要がある場合は、この機能が効果的です。

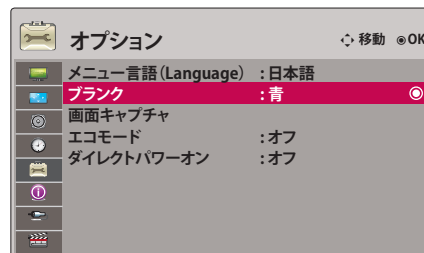
1. リモコンの **BLANK** ボタンを押します。
   - スクリーンの表示が消えて、背景画像に変わります。
   - 背景画像は、ユーザーが選択できます。(**ブランクを選択する**を参照)

2. いずれかのボタンを押すと、非表示機能がキャンセルされます。
   - 画像表示を一時的に中断するには、リモコンの **BLANK** ボタンを押します。使用中には、投映レンズを物で塞がないでください。レンズを塞いでいる物が過熱または変形したり、火災につながる恐れがあります。

ブランクを選択する

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、＜、＞ ボタンで**オプション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

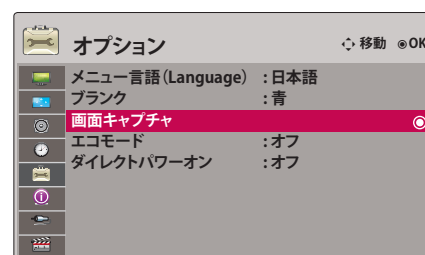
2. ∧または∨ボタンを押して**ブランク**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ ボタンで希望する項目へ移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

- 選択したのがブランクの時に表示します。
- キャプチャー画像が無い場合には、**キャプチャー画像**を選択すると、ロゴが表示されます。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

画面キャプチャ機能

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、＜、＞ ボタンで**オプション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ボタンを押して**画面キャプチャ**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

- 入力信号がある場合にのみ選択することができます。
- 画面を取り込むのに 2 分ほどかかります。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

エコモードの調整方法

1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。

2. ＜または＞ボタンを押して、**エコモード**に移動します。

3. ＜/＞ ボタンを押して希望するメニュー項目を選択します。

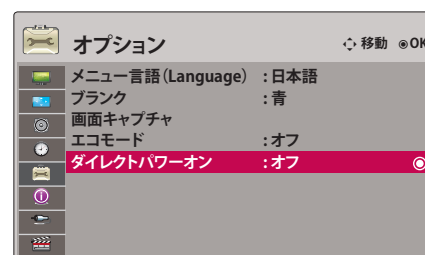
- **エコモード**は、特定の気温 (35°C 以上) で自動的に調光モードに切り替わります。調光モードでは、元の **エコモード**の約 90% の明るさになります。
- **MENU** ボタンを押すと、この機能を利用することができます。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

電源入力時に、プロジェクタの電源を自動的に入れる方法

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、＜、＞ ボタンで**オプション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧または∨ボタンを押して**ダイレクトパワーオン**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

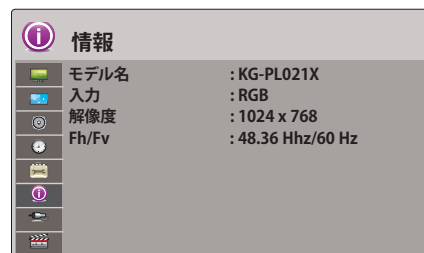
3. ∧または∨ボタンを押して**オン**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

- **オン**: DC ケーブルをプロジェクタに接続すると、プロジェクタの電源が入ります。
- **オフ**: DC ケーブルをプロジェクタに接続すると、プロジェクタがスタンバイ状態になります。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

情報メニュー

プロジェクタの情報を確認する方法

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、<、> ボタンで**情報**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

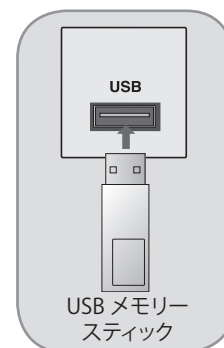
2. プロジェクタの現在の情報をご覧になることができます。

   - メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

USB

* 図に示す内容は、お使いのプロジェクタとは異なる場合があります。

USB 装置の使用

USB 装置を接続する

1. 製品の背面にあるUSB ジャックにUSB 装置を接続します。
2. 接続すると、USB ホームメニューが自動的に表示されます。

USB を取り外す

* USB デバイスを取り外すには、**イジェクト**を選択します。

1. リモコンの **Q.MENU** ボタンを押します。
2. <または>ボタンを押して、**USB デバイス**に移動します。
3. リモコンの ◉**OK** ボタンを押します。

   - USB を取り外した後は、USB メモリーから読み込むことはできません。USB メモリーを取り外して、再度接続します。
   - メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

USBデバイス利用時の注意事項

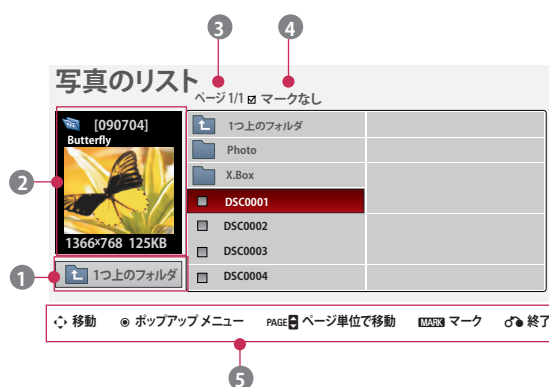
- USB記憶装置だけが認識されます。
- USBハブを使ってUSB記憶装置を接続した場合、USB記憶装置が認識されません。
- 自動認識プログラムを使用したUSB記憶装置は認識されないことがあります。
- 専用のドライバを使用するUSB記憶装置は認識されないことがあります。
- USB記憶装置の認識速度は各装置に依存します。
- 接続しているUSB記憶装置が作動しているときには、プロジェクタのスイッチを切ったりUSB記憶装置を外したりしないでください。USB記憶装置を作動中に外すと、保存されているファイルやUSB記憶装置自体が損傷することがあります。
- PC上で利用していたUSB記憶装置を接続しないでください。このようなUSB記憶装置が原因で、製品の故障や再生失敗が生じることがあります。通常の音楽ファイル、画像ファイル、動画ファイル、またはテキストファイルが入っているUSB記憶装置以外は、絶対に使用しないでください。
- Windowsオペレーティングシステムが利用するFAT16、FAT32、NTFSのファイルシステムでフォーマットされたUSB記憶装置以外は使用しないでください。Windowsがサポートしないユーティリティプログラムでフォーマットした場合は、認識されないことがあります。
- 外部電源を必要とするUSB記憶装置では、電源を接続してください。電源を接続しないと、USB記憶装置が認識されないことがあります。
- USB記憶装置との接続には、同装置製造メーカーが提供する接続ケーブルを使ってください。USB記憶装置製造メーカーが提供するケーブル以外のケーブルや、過剰に長いケーブルを使うと、USB記憶装置が認識されないことがあります。
- 一部のUSB記憶装置はサポートされないことや、正常に動作しないことがあります。
- フォルダやファイルの名前が長すぎると、表示や認識が正しく行われません。
- USB記憶装置のファイル整列方法は、Windows XPと同じであり、ファイル名は英字100文字まで認識可能です。
- USB記憶装置のデータは損傷を受けることがあります。そのため、重要なファイルはバックアップしてください。データはユーザー側で責任を持って管理してください。メーカー側がデータ損傷を引き起こした製品の責任を負うことはありません。
- USB外付けハードディスクの推奨記憶容量は1TB以下、USBメモリでは32GB以下です。推奨記憶容量を超える装置は、正しく機能しないことがあります。
- FAT32ファイルシステムのみ削除機能をサポートします。
- USBメモリ装置が正常に作動しない場合には、一旦外した後接続し直してください。
- 省エネ機能があるUSB外付けハードディスクが作動しない場合、一旦ハードディスクをオフにした後、再びオンにすると正常に作動します。
- USB2.0未満のUSB記憶装置もサポートされています。ただし、動画のリスト中で正常に作動しないことがあります。
- ご使用のUSBメモリ装置がパーティションに分けられている場合や、USBマルチカードリーダーをご使用の場合、利用できるパーティションまたはUSBメモリ装置は4つまでです。
- USBメモリ装置の速度は、メモリ装置毎に異なった速度が検知されます。
- スタンバイモードでUSBを接続すると、プロジェクタをオンしたとき、ハードディスクが自動的にロードされます。

写真のリスト

* USB 装置に保存されている写真ファイル(*.jpg) を再生できます。
以下のオンスクリーンディスプレイは、お使いの製品とは異なる場合があります。図はあくまでも、プロジェクタ操作のための参考例として記載しています。

PHOTO(*.JPEG) サポートファイル
ベースライン : 64 x 64 ~ 15360 x 8640
プログレッシブ : 64 x 64 ~ 1920 x 1440
• JPEGファイルのみ再生可能です。
• サポート外のファイルは、所定のアイコンの形状で表示されます。

画面構成

1. 上層レベルのファイルに移動します。
2. プレビュー :選択したフォルダー内の写真のサムネイル/フォルダー名を表示します。
3. 現在のページ/総ページ数
4. マークを付けた写真の総数
5. 対応するリモコンのボタン

写真選択およびポップアップメニュー

1. **USB**ボタンを押します。<、> ボタンで**写真のリスト**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧、∨、<、> ボタンを使用して、目的の写真を選択してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ ボタンを押して希望する項目へ移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

- **表示**: 選択した項目を表示します。
- **すべてをマーク**: 画面のすべての写真にマークを付けます。
- **削除**: 選択した写真項目を削除します。
- **閉じる**: ポップアップメニューを閉じます。

- 画像ファイルが損傷すると、正しく表示されない可能性があります。
- 高解像度の画像は、画面全体の表示時間が長くかかる場合があります。

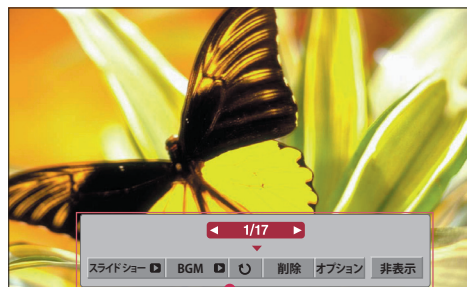
フルスクリーンメニュー

1. **USB**ボタンを押します。＜、＞ ボタンで**写真のリスト**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧、∨、＜、＞ ボタンを使用して、目的の写真を選択してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ボタンを押して**表示**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

4. 選択した写真がフルサイズで表示され、メニューを表示します。

5. ∧、∨、＜、＞ ボタンで選択して、フルサイズ画面でメニュー画面をコントロールします。

- ＜または＞ ボタンで、前後の写真を選択します。
- **スライド ショー**: **スライドショー**の再生中に、選択した写真を表示します。何も写真を選択していない場合は、現在のフォルダー内のすべての写真を**スライドショー**の再生中に表示します。
  - **オプション**画面でスライドショーの時間間隔を設定します。
- **BGM**: フルサイズで写真を鑑賞中に、音楽を聴きます。
  - **オプション**画面で、BGM のデバイスとアルバムを設定します。
- ↻ **(回転)**: 写真を回転します。
- **削除**: 写真を削除します。
- **オプション**: **スライド速度**と**音楽フォルダー**の値を設定します。
  - BGM の再生中は、**音楽フォルダー**を変更できません。
- **非表示**: フルサイズ画面でのメニューの非表示を実行します。
  - フルサイズ画面でメニュー画面を再度ご覧になるには、◉**OK** ボタンを押して表示します。

音楽のリスト

*　音楽リストメニューを利用して、USB ストレージデバイスから MP3 ファイルを再生します。
　　お買い求めになられた機種により、オンスクリーンディスプレイが異なる場合があります。

MUSIC (*.MP3) サポートファイル
ビットレート 32 Kbps ~ 320 Kbps
• サンプリングレート MPEG1 Layer3 : 32kHz, 44.1kHz, 48kHz
• サンプリングレート MPEG2 Layer3 : 16kHz, 22.05kHz, 24kHz
• サンプリングレート MPEG2.5 Layer3 : 8kHz, 11.025kHz, 12kHz

画面構成

1. 上層レベルのファイルに移動します。
2. プレビュー ：選択したフォルダー内の音楽のタイトル/
   フォルダー名を表示します。
3. 現在のページ/総ページ数
4. マークを付けた音楽の総数
5. 対応するリモコンのボタン

曲の選択およびポップアップメニュー

1. USBボタンを押します。＜、＞ ボタンで**音楽のリスト**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧、∨、＜、＞ ボタンを使用して、目的の音楽を選択してから、◉**OK** ボタンを押します。

3. ∧または∨ ボタンを押して希望する項目へ移動してから、◉OK ボタンを押します。

- **再生**: 曲の再生が終わると、次に選択されている曲を再生します。再生する曲が何も選択されていない場合は、現在のフォルダー内の次の曲を再生します。違うフォルダーへ進み ◉**OK** ボタンを押すと、現在再生中の曲は停止します。
  曲の再生中には、曲の再生時間の前に ♪ が表示されます。
  一定時間が経過した後は、全曲リスト画面が消え、音楽リストの上にある再生情報の画面がスクリーンセーバーとして表示されます。◉**OK**, ■ または **BACK** ボタンを押して、スクリーンセーバーを停止します。
  損傷または破損して再生できない音楽ファイルは、再生時間を 00:00 と表示します。
  不正コピー防止されている音楽ファイルは再生されません。
- **写真付きで再生**: 選択した音楽の再生を開始してから、**写真リスト**へ移動します。
- **すべてをマーク**: フォルダー内のすべての曲にマークを付けます。
- **削除**: 選択した曲を削除します。
- **閉じる**: ポップアップメニューを閉じます。

動画のリスト

* USB 装置が検出されると、ムービーリストが有効になります。ムービーリストは、プロジェクタでのムービーファイルの再生に使用します。

対応する動画ファイル

拡張子名	ビデオコーデック	オーディオコーデック	最大解像度に対応
mpg, mpeg, vob	MPEG1, MPEG2	Dolby Digital,MPEG,MP3,LPCM	1920x1080 @30p
dat	MPEG1	Dolby Digital,MPEG,MP3,LPCM	
mp4	MPEG4 SP, MPEG4 ASP, DivX 3.11, Dvix 4.12, Dvix 5.x Dvix 6, Xvid 1.00, Xvid 1.01, Xvid 1.02, Xvid 1.03 Xvid 1.10–beta 1, Xvid 1.10-beta 2, H.264/AVC	Dolby Digital,HEAAC, AAC,MPEG,MP3,LPCM	
avi	MPEG 2, MPEG 4 SP, MPEG4 ASP, DivX 3.11, DivX 4 DivX 5, DivX 6, Xvid 1.00, Xvid 1.01, Xvid 1.02, Xvid 1.03 Xvid 1.10–beta 1, Xvid 1.10–beta 2, H.264/AVC	Dolby Digital,HEAAC,AAC,MPEG, MP3,LPCM	
mkv	H.264/AVC, MPEG 1, MPEG 2, MPEG 4 SP, MPEG4 ASP	Dolby Digital,HEAAC,AAC,MPEG,MP3,LPCM	
divx	MPEG 2, MPEG 4 SP, MPEG4 ASP, DivX 3.11, DivX 4 DivX 5, DivX 6, Xvid 1.00, Xvid 1.01, Xvid 1.02, Xvid 1.03 Xvid 1.10–beta 1, Xvid 1.10–beta 2, H.264/AVC	Dolby Digital,HEAAC,AAC,MPEG, MP3,LPCM	

ビットレート : 32 kbps ~ 320 kbps (MP3)の範囲内
サブタイトルフォーマット : *.smi/*.srt/*.sub(MicroDVD, SubViewer1.0/2.0)/*.ass/*.ssa/*.txt(TMPlayer)/*.psb(PowerDivX)

- 特殊なコーディング過程によっては、再生できない場合があります。

DivX再生時の注意事項

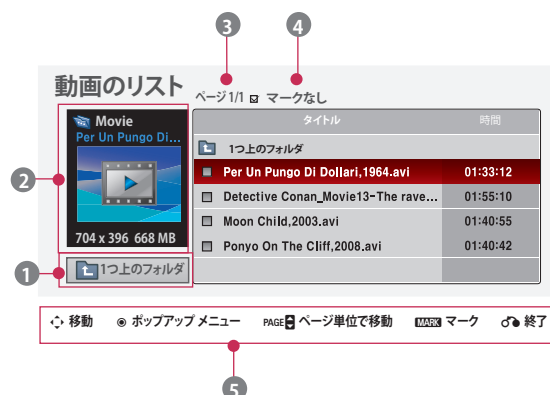
- ▶ DivX動画ファイルとそのサブタイトルファイルは、同じフォルダ内にある必要があります。
- ▶ このとき、動画ファイル名とそのサブタイトルファイル名は、表示される名前と同じである必要があります。
- ▶ ユーザーが作成した固有のサブタイトルは、正常に機能しないことがあります。
- ▶ 一部の特殊文字はサブタイトルではサポートされていません。
- ▶ HTMLタグはサブタイトルではサポートされていません。
- ▶ サポート対象言語以外の言語のサブタイトルは使用できません。
- ▶ 外部サブタイトルファイル内の時間情報は、再生する昇順で並べる必要があります。
- ▶ 損傷した動画ファイルは再生されないことがあります。また、再生中に特定の機能が制限されることがあります。
- ▶ エンコーダで作成した特定のビデオファイルは再生されないことがあります。
- ▶ 記録したファイルの映像と音声の構造がインターリーブに設定されていない場合には、映像または音声のいずれかが出力されません。
- ▶ 各フレームでサポートされている最大解像度を超えた解像度の映像は、スムーズな再生が保証されていません。
- ▶ DTSオーディオコーデックはサポートされていません。
- ▶ 30GB（ギガバイト）を超える動画の再生はサポートされていません。
- ▶ 高速接続をサポートしていないUSB接続によるビデオ再生は、正常に機能しないことがあります。
- ▶ **動画のリスト**を使ったビデオの視聴時には、画面調整機能が機能しません。
- ▶ 音声言語切り換え時には、画面が一時的に途切れることがあります（画像停止、早送り再生など）。
- ▶ 指定形式、指定フォーマット以外の動画ファイルは、正常に表示されないことがあります。
- ▶ 再生可能動画ファイルの最大ビットレートは20 Mbpsです。
- ▶ GMC (グローバル動き補償) を使用してエンコードされたファイルは再生できないことがあります。
- ▶ **動画のリスト**機能による動画視聴時には、各投映モードのユーザー設定は機能しません。
- ▶ 動画の外部サブタイトルは、ASCIIコードで保存したファイルのみサポートされます。
- ▶ サブタイトル1行あたり、500英字と500数字のみサポートされます。
- ▶ サブタイトルファイル内では、10000同期ブロックまでサポート可能です。

- ABOUT DIVX VIDEO: DivX® is a digital video format created by DivX, Inc. This is an official DivX Certified device that plays DivX video. Visit www.divx.com for more information and software tools to convert your files into DivX video.
- ABOUT DIVX VIDEO-ON-DEMAND: This DivX Certified® device must be registered in order to play DivX Video-on-Demand (VOD) content. To generate the registration code, locate the DivX VOD section in the device setup menu. Go to vod.divx.com with this code to complete the registration process and learn more about DivX VOD.
- "DivX Certified® to play DivX® video up to HD 1080p, including premium content."
- "DivX®, DivX Certified® and associated logos are registered trademarks of DivX, Inc. and are used under license."
  "Pat. 7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274"

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

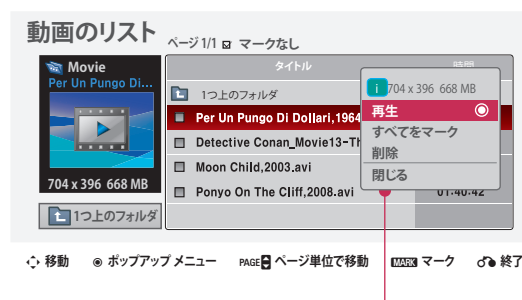
画面構成

1. 上層レベルのファイルに移動します。
2. プレビュー :選択したフォルダー内の動画のタイトル/フォルダー名を表示します。
3. 現在のページ/総ページ数
4. マークを付けた動画の総数
5. 対応するリモコンのボタン

• リピート再生をするには、リモコンのMARKを押します。リピート再生対象のファイルには、ファイルの横の□が☑になります。

動画の選択およびポップアップメニュー

1. USBボタンを押します。<、> ボタンで**動画のリスト**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧、∨、<、> ボタンを使用して、目的の動画を選択してから、◉OK ボタンを押します。

3. ∧または∨ボタンを押して希望する項目へ移動してから、◉OK ボタンを押します。

- **再生**: 選択した動画名を再生します。
  - サポートされないファイルの場合は、非対応ファイルについてのメッセージが表示されます。

  このファイルは無効です。

  - 画面は再生されますが、音声ファイルがサポートされない場合は、以下のメッセージが表示されます。

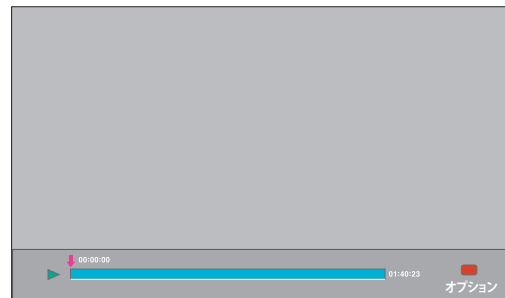
- **すべてをマーク**: フォルダー内のすべての動画にマークを付けます。
- **削除**: 選択した動画を削除します。
- **閉じる**: ポップアップメニューを閉じます。

動画を再生する

* 動画の再生中に、さまざまな方法で操作することができます。

1. USBボタンを押します。<、> ボタンで**動画のリスト**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧、∨、<、> ボタンを使用して、目的の動画を選択してから、◉OK ボタンを押します。

3. ∧または∨ボタンを押して**再生**に移動してから、◉OK ボタンを押します。

◆ リモコンの使用
- ▶II **(再生/一時停止)** ボタンを押すと、スクリーンが再生/一時停止します。
- ■ **(停止)** ボタンを押して停止します。
- I◀◀ ボタンを押して、早戻し再生します。
- ▶▶I ボタンを押して、早送り再生します。

オプションメニューの選択

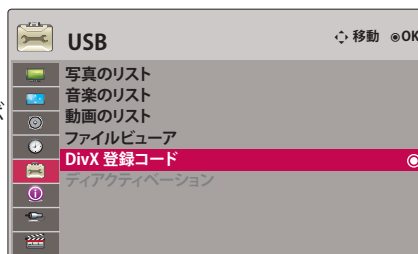
動画のリストの再生モードでリモコンの (赤) ボタンを押します。

- **アスペクト比**: **フル**または**オリジナル**の画面サイズを選択します。
- **投映モード**: **ビビッド**、**標準**、**シネマ**、**スポーツ**または**ゲーム**を選択します。
- **音声言語**: 動画再生中の音声の言語グループを選択します。
- **字幕言語**: 動画再生中のサブタイトルの言語グループを選択します。サブタイトルの言語オプションは、**メニュー言語 (Language)** の選択と異なる言語を選択することができます。
  - **同期**: 映像とキャプションが同期していない場合、0.5 秒単位で調整することができます。
  - **位置**: 字幕の位置を移動します。

字幕言語グループ	サポート言語
ラテン語1	フランス語、スペイン語、カタロニア バスク語、ポルトガル語、イタリア語、アラビア語、レト-ロマン語、オランダ語、ドイツ語、デンマーク語、スエーデン語、ノルウェイ語、フィンランド語、フェロー語、アイスランド語、アイルランド語、スコットランド語、英語
ラテン語2	チェコ語、ハンガリー語、ポーランド語、ルーマニア語、クロアチア語、スロバキア語、スロベニア語、セルビア語
ラテン語4	エストニア語、バルト諸語ラトビア語およびリトアニア語、グリーンランド語およびラップ語
ラテン語5	英語、トルコ語
キリル語	ブルガリア語、ベルロシア語、マケドニア語、ロシア語、セルビア語および1990年以前の（アップターンありのgheが無い）ウクライナ語
ギリシャ語	英語、近代ギリシャ語
ヘブライ語	英語、現代ヘブライ語
中国語	中国語
韓国語	英語、韓国語
アラビア語	英語、アラビア語

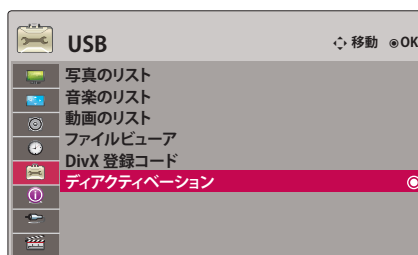
DivX 登録コードをご覧になるには

* プロジェクタの DivX 登録コード番号を確認します。
登録番号を利用して、http://www.divx.com/vod で映画をレンタルしたり購入したりすることができます。

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、<、> ボタンで**USB**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ボタンを押して**DivX 登録コード**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. プロジェクタの DivX 登録コードをご覧になることができます。

- 他のプロジェクタの DivX 登録コードで、レンタルまたは購入した DivX ファイルを再生することはできません。(お買い求めになられたプロジェクタの登録コードに一致する DivX ファイルのみを再生することができます。)
- DivX の標準コーディング以外の標準コーディングを基にして変換した映像または音声のファイルは、破損する可能性や再生できない可能性があります。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

ディアクティベーション機能

* 既存の認証情報を削除して、プロジェクタの新規 DivX ユーザー認証を取得します。この機能を実行すると、DivX DRM ファイルを鑑賞する際に、改めて DivX ユーザー認証が必要になります。

1. **MENU** ボタンを押します。∧、∨、<、> ボタンで**USB**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
2. ∧または∨ボタンを押して**ディアクティベーション**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。
3. <または> ボタンを押して希望する項目へ移動してから、◉OK ボタンを押します。

- DRM (Digital Rights Management：デジタル著作権管理) 機能：
  これらは、デジタル コンテンツの不正使用を防止して、著作権保有者の利益と権利を保護するための技術とサービスです。インターネットなどの方法でライセンスが解除された後に、ファイルを再生することができます。
- メニュー表示を終了するには、**BACK** ボタンを押します。

ファイルビューア

サポートファイル : XLS, DOC, PPT, TXT, XLSX, PPTX, DOCX, PDF
• Microsoft Office Version 2000 / 2002 / 2003 / 2007
• Adobe PDF Version 1.0 / 1.1 / 1.2 / 1.3 / 1.4
- File Viewerは文書のアラインメントをやり直すため、PCとは異なる表示になることがあります。
- 画像を含む文書では、アラインメント変更プロセス中に解像度が下がることがあります。
- 文書の容量が大きい場合やページ数が多い場合には、ロードに長時間かかることがあります。
- サポートされていない一部のフォントは、他のフォントに置きかわることがあります。

画面構成

1. 上層レベルのファイルに移動します。
2. プレビュー :選択したフォルダ内のファイルのタイトル/フォルダ名が表示されます。
3. 現在のページ/総ページ数
4. 対応するリモコンのボタン

ファイルを見ます

1. USBボタンを押します。＜、＞ ボタンで**ファイルビューア**に移動してから、◉**OK** ボタンを押します。

2. ∧、∨、＜、＞ で希望するファイルへと移動し、◉**OK**ボタンを押します。

- Page ∧、∨ ボタンを使用して前または次のページに移動します。
- **希望ページへ**: 希望するページへと移動します。

0	3	/14 ページ

1. ＜、＞ボタンで**希望ページへ**と移動し、∧ボタンを押します。
2. ∧、∨、＜、＞ ボタンで希望するページを選択し、◉**OK**ボタンを押します。

- **ズーム**: ズームインまたはズームアウトします。

100 %	−	＋	幅に合わせる	高さに合わせる	◉OK

1. ＜、＞ボタンで**ズーム**へと移動し、∧ボタンを押します。
2. ＜、＞ボタンで＋または−を選択し、◉**OK** ボタンを押して倍率を変更します。

- **非表示**: メニューを閉じます。
  - フルサイズのスクリーン上でメニューをもう一度見るには、**MENU**ボタンを押して表示させます。

情報

サポートされるモニタ表示

* プロジェクタでサポートされる表示形式を下表に示します。

形式	垂直周波数(Hz)	水平周波数(kHz)
640X350	70.090	31.468
720X400	70.080	31.469
640X480	59.940	31.469
640X480	72.800	37.861
640X480	75.000	37.500
800X600	56.250	35.156
800X600	60.310	37.879
800X600	72.180	48.077
800X600	75.000	46.875
1024X768	60.000	48.363
1024X768	70.060	56.476
1024X768	75.020	60.023
1152X864	60.053	54.348
1280X768	59.870	47.776
1360X768	60.015	47.712
1280X960	60.000	60.000
1280X1024	60.020	63.981
1400X1050	59.979	65.317
1680X1050	60.000	65.300

* 入力信号がプロジェクタでサポートされない場合は、スクリーンに「範囲外」のメッセージが表示されます。
* 本プロジェクタは、DDC1/2B タイプのプラグアンドプレイ機能をサポートしています(PC の自動認識)。
* 対応する PC 同期信号タイプ：セパレートシンク タイプ。
* 最良の画質を得るには、PCのグラフィックカードを1024x768に調節します。

<DVD/DTV 入力>

信号		コンポーネント-*1	HDMI-*2
NTSC (60 Hz)	480i	O	X
	480p	O	O
	720p	O	O
	1080i	O	O
	1080p	O	O
PAL (50 Hz)	576i	O	X
	576p	O	O
	720p	O	O
	1080i	O	O
	1080p	O	O
24 / 30 Hz	1080p	O	O

* ケーブルタイプ
1- RGB/コンポーネントケーブル
2- HDMI ケーブル

メンテナンス

* プロジェクタには定期点検がほとんど必要ありません。ごみや汚れがあるとスクリーンに映り込むので、レンズは常に清潔にする必要があります。部品の交換が必要な場合は、販売店にご連絡ください。プロジェクタの部品をクリーニングするときには、必ず最初にプロジェクタの電源をオフにして、電源プラグを抜いてください。

レンズをクリーニングする

レンズの表面にホコリや染みが付いている時は、レンズのお手入れを行ってください。本機の外装部分には、本機に付属しているエアスプレーと布を使用して軽く拭いてください。推奨のエアスプレーやレンズ洗浄剤を使用してください。レンズのお手入れには、少量の洗浄剤を綿棒または柔らかい布に含ませて拭いてください。本機のレンズ部分に直接吹き付けると、液体がレンズ部分から内部に流れ込む恐れがありますのでご注意ください。

プロジェクタ本体をクリーニングする

プロジェクタ本体をクリーニングする場合は、最初に電源ケーブルを抜いてください。ごみやほこりを取り除くには、付属のポリッシングクロスで外装を拭きます。レンズのごみや汚れを取り除く場合は、外装用のクロス(製品付属) を使用します。
外装が変形または変色する恐れがあるので、アルコール、ベンジン、シンナー、およびその他の化学洗剤は使用しないでください。

仕様

<table>
<tr><th>MODEL</th><th colspan="2">KG-PL021X</th></tr>
<tr><td>解像度</td><td colspan="2">1024 (横) x 768 (縦) pixel</td></tr>
<tr><td>アスペクト比</td><td colspan="2">4 : 3 (横 : 縦)</td></tr>
<tr><td>パネルサイズ (mm/inch)</td><td colspan="2">13.97/0.55</td></tr>
<tr><td>投映距離
(スクリーンサイズ)</td><td colspan="2">0.55 m - 2.75 m (20 inch - 100 inch)</td></tr>
<tr><td>投写オフセット</td><td colspan="2">110 %</td></tr>
<tr><td>リモコン距離</td><td colspan="2">6 m</td></tr>
<tr><td>ビデオ互換性</td><td colspan="2">NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL-60</td></tr>
<tr><td>AC-DC アダプタ</td><td colspan="2">LG, SD-B191 A, 19.5 V ⎓, 5.64 A</td></tr>
<tr><td>音声出力</td><td colspan="2">1W + 1W</td></tr>
<tr><td>高さ (mm)</td><td colspan="2">57.5 (脚無し), 61.0 (脚あり)</td></tr>
<tr><td>幅 (mm)</td><td colspan="2">160.0</td></tr>
<tr><td>長さ (mm)</td><td colspan="2">135.5</td></tr>
<tr><td>重量 (g)</td><td colspan="2">786</td></tr>
<tr><td>USB デバイス</td><td colspan="2">5 V, 0.5 A (最大)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作条件</td><td>温度</td><td>動作時：0°C - 35°C
保管/輸送時：-20°C - 60°C</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td>動作時：0% - 80% (乾式湿度計による相対湿度)
非動作時：0% - 85% (乾式湿度計による相対湿度)</td></tr>
</table>

オープンソースソフトウェアの通知

本製品中で利用されている以下のGPL実行形式およびLGPL、MPLライブラリは、GPL2.0/LGPL2.1/MPL1.1ライセンス契約の対象です。

GPL実行形式:
Linux kernel 2.6, busybox, lzo, u-boot
LGPL ライブラリ:
uClibc
MPL ライブラリ:
nanox

加賀コンポーネントは、カスタマーサポートにご依頼頂ければ、CD-ROMに記録したソースコードを提供いたします。また媒体費用や送料手数料等の配送実費を請求いたします。
GPLおよびLGPLのコピーは **http://www.gnu.org/licenses/** から、MPLのコピーは **http://www.mozilla.org/MPL/**からそれぞれ入手できます。
またGPL、LGPLライセンスの翻訳は、下記から入手できます。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0-translations.html,
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1-translations.html.

本製品には、下記のものが含まれます。
► cmap: copyright © 1990-1998 Adobe Systems Incorporated.
► GIF LZW Decoder: copyright © 1987, by Steven A. Bennett
► md5: copyright © 1991-2, RSA Data Security, Inc
► jpeg: Independent JPEG Group, copyright © 1991 – 1998, Thomas G. Lane.
► libpng: copyright © 2004 Glenn Randers-Pehrson
► OSSP str - String Handling:
- copyright © 1999-2005 Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com>
- copyright © 1999-2005 The OSSP Project http://www.ossp.org/
► random number generator : copyright © 1990, 1993 The Regents of the University of California.
► Standard C functions
- copyright © 1998 Softweyr LLC.
- copyright © 1988, 1993 The Regents of the University of California.
► tinyxml: copyright © 2000-2006 Lee Thomason
► zlib: copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

以下に定める条件に従い、本ソフトウェアおよび関連文書ファイル（以下「ソフトウェア」）の複製を取得するすべての人に対し、ソフトウェアを無制限に扱うことを無償で許可します。これには、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、頒布、サブライセンス、および/または販売する権利、およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利も無制限に含まれます。

ソフトウェアは「現状のまま」で、明示であるか暗黙であるかを問わず、いかなる保証もなく提供されます。ここでいう保証とは、商品性、特定の目的への適合性、および権利非侵害についての保証も含みますが、それに限定されるものではありません。作者または著作権者は、契約行為、不法行為、またはそれ以外であろうと、ソフトウェアに起因または関連し、あるいはソフトウェアの使用またはその他の扱いによって生じる一切の請求、損害、その他の義務についていかなる責任も負わないものとします。

プロジェクタのモデル番号とシリアル番号は、装置の背面または側面に記されています。サービスご依頼時に必要となることがあるため、この番号を下記に記録しておいてください。

モデル番号 ______________________

シリアル番号 ______________________